



謹んで新春のお慶びを申し上げます 2023年、新しい年のスタートにあたって



2007年の初当選から早や16年が経とうとしています。皆さまのお支えに心から感謝を申し上げます。全ての人の人権尊重を基盤として、私のライフワークと位置付ける、教育や子ども、障がい者・高齢者福祉、平和やジェンダー平等社会の実現に力を注いできました。この間、地域や市民団体の皆さまの相談、要望から見える政治の課題を政策提案として、議会で発信し問題解決に努めてきました。命と暮らし優先の「ぬくもりと安心」のまちづくり実現のために、これからも全力でとりくんでまいります。

福岡市議会議員 いけだ良子

12月議会 教育子ども委員会

豊かな教育環境実現のため、教育費の拡充を！

急激な物価高騰は様々なところに影響を及ぼしています。12月議会では、6月・9月補正に引き続き、光熱費の追加、支援を行うことが決まりました。

- **教育関連施設** (学校・図書館等) には、約13億4千万円の補正
- **児童養護施設、障がい児福祉サービス事業所等** に対

しては、約2,800万円余の支援金を支給

- ①入所施設定員1人当たり30,000円、通所事業所1人当たり6,000円(定員8人以下は一律50,000円)
- ②相談支援事業所等では、1事業所当たり50,000円
- ③里親は、委託児童1人当たり30,000円

2022年4月～2023年9月に出生した人へ 出産・子育て応援交付金を支給！(約25億円)

子ども未来局で補正予算議案として提案されたことから、常任委員会で審議をしました。

事業の実行に当たって、質問と要望をしました。以下、内容をご報告します。

事業の主旨は **安心して出産・子育てができる環境整備**を目的として、妊娠期から出産・子育てまでの**経済的支援を伴走型の相談支援と一体的に実施**するもの。

支給対象者については、**出産応援は妊婦へ、子育て応援は「養育者」へ面談の上**、指定された口座へ現金振り込みで行うものです。様々な家庭状況が想定されることから、

面談は「養育者」となっているが、出産後の育児の悩みや疲れ等に寄り添って相談支援を行う事業の主旨からも、必ず**母親と面談を行ったうえで支給すべき**と意見を述べました。さらに、DVを理由に住民票を移動せずに避難している妊婦でも、生活している避難先の市町村で面談を実施し、出産・子育て応援の支給を受けられることを確認し、その周知に努めることを要望しました。この事業は、10月以降も継続することを確認しました。



西区事業を市長へ要望



例年、西区長とともに西区議員団で「西区事業要望」を市長へ提出しています。各議員が地域の皆さまから頂いた要望をまとめ、今年も25項目を要望しました。私は、交通不便地における**生活交通**として、オンデマンド交通の実施エリアを拡大するとともに、**壱岐南校区「のーと」の本格実施**に向けて支援を求めました。

「ぬくもりと安心のまち」実現のために・・・

いけだ良子の主張！

4月から2年連続の年金支給額の引き下げに加え、75歳以上の方で一定以上の所得がある方は10月より医療費の窓口負担割合が1割から2割に引き上げられました。

物価高騰の波はすでに市民生活に大きく影響を及ぼしています。暮らしを支えるための家計の負担軽減は待たなしです。感染症への対策と傷んだ暮らしの立て直しのため、先の決算特別委員会や会派の予算要望で、2023年度予算への反映を求めました。

家計の負担軽減

- 学校給食費を無償化すること。
- 就学援助対象を生活保護基準の1.25から1.3とし、支給項目の対象拡大など、就学援助制度の拡充を図ること。
- 未就学児(3歳以上6歳未満)の医療費を無料とすること。
- 第2子以降の保育にかかる保育料や副食費などの負担軽減を図ること。

すべての子どもの学力保障

- 教員の正規率を高め、産休・育休・病休者の**代替講師の確保**に努めること。
- 一人ひとりの「学び」に寄り添う**専科教員**を増員すること。
- 個に応じた学習として、放課後の**「ふれあい学び舎事業」**を再開すること。
- 不登校児童生徒の学びを保障するため、**フリースクール等の費用(月平均33,000円)支援**をすること。

感染症への対策

- ワクチン接種後や後遺症などの体調不良・不安に対して、専門的な対応が可能な相談窓口を身近なところに設置・充実すること。
- 様々な手続きがデジタル化していく現状を踏まえ、高齢者を対象にSNS等の「デジタル」対策の機会を設けたりするなど援助を行うこと。

高齢者・障がい者の暮らし支援

- **重度障がい者**(障がい支援区分5～6)のグループホーム入居の更なる促進をすすめること。
- 生活交通として、オンデマンド交通の実施エリアを拡大するとともに、**壱岐南校区「のーと」の本格実施**に向けて支援をすること。
- 高齢者乗車券の利便性を高めるため、電車バスとタクシーの両方の活用を可能とし、年間利用額の増額を検討すること。
- 単身高齢者の住まいの確保のための支援策を充実すること。
- 介護士の処遇の改善を含め、訪問看護師の人材確保に努めること。



安心・安全な幼児教育・保育環境

- 保育士の配置基準は、保育士1人に対し0歳児3人、1～2歳児6人、3歳児20人、4歳児以上30人である。保育士の加配措置を行うこと。
- 正規保育士を対象に実施している「家賃助成」「奨学金返済支援」を非正規保育士へも拡充すること。
- 保育士の感染時(濃厚接触含む)における代替保育士の確保策を講じること。

所属委員会・協議会等

- 教育子ども委員会 委員
- 交通対策特別委員会 委員長
- 大都市税財政制度確立推進協議会 委員
- (公財)福岡市教育振興会 評議員
- 福岡市子ども・子育て審議会 委員

いけだ良子事務所

〒819-0043
福岡市西区野方2丁目13-3
tel:092-812-3447 fax:092-812-3449
http://www.ikedayoshiko.com
nukumori_anshin06@yahoo.co.jp

